

か だ ひ び ゆ つ ば しょ  
駆け出した日々に 行き着いたこの場所

ふ とびらひら  
触れた扉 開いて

ほしぞら か なた ゆめ あしあと  
星空の彼方 夢の足跡

ひろ あつ うた  
拾い集め歌うよ

ゆめ か ば しょ  
夢が駆けてく場所

いま こころ ひ  
今も心に秘めて

よる つつ こ  
夜を包み込む

まほう か おど だ  
魔法お掛けて踊り出す

や つ いろ ふうけい  
焼き付いたように色づいた風景は

ころ と せ かい つづ  
転んだくらいじゃ融けないから 世界は続くよ

はかな いま だ  
儚いままの今を抱きしめて

か じ かん  
変わらないまま時間と

ひかり み ある  
光 見つめて歩いてく

ほお な なつ かぜ  
頬を撫でたのは懐かしくそよぐ風

み な ふうけい おも だ  
見慣れた風景 すぐに思い出せるよ

よ そら いだ う いくせん つぶ  
夜空に抱かれて浮かぶ幾千の粒に

こ おも いま とど  
焦がれた想いは今も届いてるかな？

いの こわ  
祈りがすぐに壊されないように

うた  
いつもここで歌うから

お ひ まぼろし  
ただ追いかけてたあの日が幻でも

うつむ と そら さけ  
俯いたままじゃ飛べないから 空に叫ぶの！

はな さ                      ころ だ  
花咲いたこの心 抱きしめて

ゆず みらい  
譲れないから未来と

あら　みち　ふ　し  
新たな道を踏み締めて

か なた ねが こえ  
彼方に願う声

なみだ きざ そら ひび  
涙を刻んだ空に響け

や　　つ　　　　　　いろ　　　　　　ふうけい  
焼き付いたように色づいた風景は

ころとせ かい つづ  
 転んだくらいじゃ融けないから世界は続くよ

はかな いま だ  
 儚いままの今を抱きしめて

か じ かん  
変わらないまま時間と

ひかり み ある  
光 見つめて歩いてく

ある  
歩いてく…

かけだしたひびに ゆきついたこのばしょ  
駈 出 日 々 行 着 場 所

ふれたとびらひらいて  
触 扉 開

ほしぞらのかなた ゆめのあしあと  
星 空 彼 方 夢 足 跡

ひろいあつめうたうよ  
拾 集 歌

ゆめがかけてくばしょ  
夢 駈 場 所

いまもここにひめて  
今 心 秘

よるをつつみこむ  
夜 包 込

まほうおかけておどりだす  
魔法 掛 踊 出

やきついたようにいろづいたふうけいは  
焼 付 色 風 景

ころんだくらいじゃとけないから せかいはずづくよ  
転 融 世 界 続

はかないままのいまをだきしめて  
儚 今 抱

かわらないままじかんと  
変 時 間

ひかりみつめてあるいてく  
光 見 歩

ほおをなでたのはなつかしくそよぐかせ  
頬 撫 懷 風

みなれたふうけい すぐにおもいだせるよ  
見 慣 風 景 思 出

よぞらにいだかれてうかぶいくせんのつぶに  
夜 空 抱 浮 幾 千 粒

こがれたおもいはいまもとどいてるかな？  
焦 想 今 届

いのりがすぐにこわされないように  
祈 壊

いつもここでうたうから  
歌

ただおいかけてたあのひがまぼろしでも  
追 日 幻

うつむいたままじゃとべないから そらにさけぶの！  
俯 飛 空 叫

はなさいたこのころだきしめて  
花 咲 心 抱

ゆずれないからみらいと  
譲 未 来

あらたなみちをふみしめて  
新 道 踏 締

かなたにねがうこえ  
彼 方 願 声

なみだをきざんだそらにひびけ  
涙 刻 空 響

やきついたようにいろづいたふうけいは  
焼 付 色 風 景

ころんだくらいじゃとけないから せかいはつづくよ  
転 融 世 界 続

はかないままのいまをだきしめて  
儚 今 抱

かわらないままじかんと  
変 時 間

ひかりみつめてあるいてく  
光 見 歩

あるいてく…  
歩